

赤江小学校とドイツ陸上チームとの交流企画の概要

「85年目のありがとう！」

1 経緯

今をさかのぼること85年前の1936年8月。宮崎市赤江生まれの村社講平の姿はドイツベルリンのオリンピック陸上競技会場にあった。男子1万メートル決勝において、東洋から来たわずか160センチほどの村社青年が、大柄な外国人選手を従え、先頭を走るその積極果敢なレース展開に、いつしか場内の観衆からは「ムラコソ！ムラコソ！」と大きな声援を送られることとなった。

結果は惜しくも1万メートル、後日開催の5千メートルともに4位となったものの、その力走する姿は、日本はもちろんのこと、その後の五輪長距離で金メダルを4つ獲得し、人間機関車と呼ばれたザトベックの英雄ともなった。

今回、東京オリンピック・パラリンピックに出場するドイツ陸上チームが、7月16日から本市で事前合宿をすることから、赤江小（和田保典校長）の子どもたちにより、応援メッセージボードや千羽鶴などを作成し、ドイツ選手のオリンピックでの活躍を願うとともに、85年前に先輩の村社講平選手がベルリンオリンピックでもらった熱狂的な声援のお礼の気持ちを伝えていきます。

また、この企画により、子どもたちが偉大な先輩の功績をあらためて思い起こし誇りを持ってもらうとともに、オリンピックを通しての国際交流で広い視野を身に付けることも目的とします。

2 交流企画の概要

- ①村社講平選手の功績を学びます
- ②校長先生によるドイツ語でのあいさつや文化を学びます
- ③宿泊施設に飾ってもらう応援メッセージ（ドイツ国旗も描く）を作成します
- ④選手の活躍を祈願して千羽鶴を作成します
- ⑤聖火リレーで実際に使用した聖火トーチ、ユニホームを展示します

3 赤江小5年生の作業風景の撮影について

- ・日 時：令和3年7月12日（月）14時55分～15時40分
- ・受 付：赤江小学校正門前 ～14時40分
- ・取材申込：別途、配布の取材申込書を12日（月）午前9時までにFAXください



故 村社講平選手



相手国の勉強



メッセージ作成



千羽鶴の作成



動画メッセージ

【問い合わせ】

宮崎市観光商工部スポーツランド推進課
誘致係（担当：甲斐、益田）

電話 20-5151